



座って学ぶ



体験



多人数



小人数



子ども



おとな

マイクロプラスチックとマイバッグ



実施内容

ウミガメなどが、プラスチックを食べて死んでいます。また劣化して粉々になったプラスチック「マイクロプラスチック」は、今や私たち人間も知らない間に食べています。マイバッグからマイクロプラスチック問題を考えます。

平均所要時間

30 分～ 90 分

準備物

- 参加者の机 ・ いす
- 電源 ・ スクリーン
- プロジェクター

定員

何名でも可

その他

- ホワイトボード（準備可能な場合）
- プロジェクター等がない場合も対応可

参加費

無料

実施団体

NPO 法人イー・ビーイング

POINT

- プラスチックごみの海洋生物への影響を知る
- マイクロプラスチックの人体への影響について知る
- プラスチックごみを減らすライフスタイルを学ぶ



わたしたちの生活と生物多様性



実施内容

私たちの暮らしは快適さと便利さを追求してきました。それは生物多様性を損ね続けていることにもなります。生物多様性の保全と毎日の暮らしを守ることを、両方の視点、バランス感覚が大切です。

平均所要時間

30 分～ 90 分

準備物

- 机 ・ いす
- 電源 ・ スクリーン
- プロジェクター

定員

何名でも可

その他

- ホワイトボード（準備可能な場合）
- プロジェクター等がない場合も対応可

参加費

無料

実施団体

NPO 法人イー・ビーイング

POINT

- 生物多様性の基本を知る
- 私たちの暮らしと生物多様性の関係について学ぶ



落ち葉のしおりをつくろう



実施内容

はがきサイズの厚紙に、好きな葉っぱを選んで貼り合わせます。厚紙の丸く切り抜いた部分から落ち葉の自然な模様や色がのぞいて世界に一つのオリジナルのしおりが完成します！電源も不要でどこでも実施可能なプログラムです。

平均所要時間

10 分程度
(絵本の読み聞かせと組合わせて 30～40 分で 15～20 人入れ替え式可)

準備物

- 机 ・ いす
- セロテープ

定員

何名でも可

その他

落ち葉を使用するので秋のシーズンがおすすめ。事前に乾燥するのでストックがある場合は他シーズンも対応可

参加費

無料

実施団体

大阪府シェアリングネイチャー協会

POINT

- すぐ近くにある自然を楽しもう
- 葉っぱにもいろんな色・形があること（樹木の多様性）
- 本を楽しむきっかけづくり





落ち葉のしおりをつくろう(パウチ)



実施内容

好きな落ち葉を選んでラミネートシートで挟むだけでできあがり！簡単にできて、葉っぱの形・模様をそのまま生かします。ラミネートした後に絵を書いたりすることもできます。世界に一つのオリジナルしおりを作ろう！

平均所要時間

5分程度

準備物

・机 ・いす
・電源 ・はさみ ・パンチ
※電源を使わない
ラミネートシートもあります

定員

何名でも可

その他

落ち葉を使用するので秋のシーズンがおすすめ

参加費

無料

実施団体

大阪府シェアリングネイチャー協会

POINT

- ☐ すぐ近くにある自然を楽しもう
- ☐ 葉っぱにもいろんな色・形があること（樹木の多様性）
- ☐ 本を楽しむきっかけづくり



季節を感じる ネイチャーゲーム体験会



実施内容

ネイチャーゲームを通して、身近な自然に五感を開き、季節の移ろいや生き物の息吹を体感できます。自然に関する知識や年齢に関係なく楽しめ、公園や、校庭でも手軽にできます。どなたでも、親子の参加も大歓迎です。

平均所要時間

基本 2 ～ 3 時間

準備物

・筆記具
・一人用レジャーシート

定員

25 名程度

その他

雨天は室内で対応可能

参加費

無料

実施団体

大阪府シェアリングネイチャー協会
(地域の会＝鶴見緑地ネイチャーゲームの会・大阪城公園ネイチャーゲームの会)

POINT

- ☐ 「ネイチャーゲーム」アクティビティの体験
- ☐ 自然を身近に感じることができます
- ☐ 自然を深く感じることができます



「ネイチャーゲーム」入門講座（大人向け）



実施内容

環境教育プログラム「ネイチャーゲーム」代表的なアクティビティを実際に体験し、目的やプログラムの考え方、指導上のポイントが学べる講座です。対象は、野外活動や環境活動指導者、自然体験活動に興味がある方など。

平均所要時間

3 時間以上

準備物

「入門講座テキスト」を購入していただきます。
・筆記具 ・一人用レジャーシート

定員

25 名まで

その他

雨天は室内で対応可能

参加費

無料

実施団体

大阪府シェアリングネイチャー協会

POINT

- ☐ 代表的なアクティビティの体験
- ☐ アクティビティの実践方法と目的
- ☐ プログラムの考え方や指導上のポイント





河川調査の体験プログラム



実施内容

大阪府高等学校生物教育研究会では5年ごとに大阪の自然調べを実施しています。この一環で生物部は、河川調査を毎年実施しています。この河川調査を体験していただけます。水辺に親しみ水環境について考えましょう。

時間

8:30 ~ 12:30

準備物

そのまま川に入れる運動靴など
(ビーチサンダルは不可)

定員

10名程度

その他

雨天中止

参加費

無料

実施団体

大阪府立大手前高等学校
生物部

POINT

- ☐ 大阪にも、とても美しい河川が残っていることを体験できます
- ☐ サワガニと遊ぶことができます
- ☐ オニヤンマの行動を観察できます



チリメンモンスターを探せ！



実施内容

未分類のチリメンジャコに含まれる生き物の中からお気に入りのチリメンモンスター（しらすの中に混じって捕れる生き物たち）を探しカードに貼り付けて持ち帰ってもらう企画。大阪湾の生き物を通して、海の環境のことについて考えてみましょう。

平均所要時間

20分～1時間

準備物

- ・机
- ・いす
- ・材料のちりめんモンスター（5,000円）

定員

会場規模にあわせて実施可能

その他

ちりめんモンスターの購入先を事前にお知らせするのでご準備ください
小学生以下の方は、保護者同伴をお願いします

参加費

無料

実施団体

大阪府立大手前高等学校
生物部

POINT

- ☐ 大阪湾の生物多様性に思いをはせることができます
- ☐ 季節性があるので何度か参加いただくとより楽しめます
- ☐ 高校1～2年生の生物部員がお手伝いをいたします



カードゲームで「食品ロス」を考えよう！



実施内容

「食べ残しNOゲーム」を通して地球温暖化や食品ロスについてわかりやすく学びます。講義を受けた上でカードゲームを実施し、食品ロスの原因について考え、その後自分は何ができるかを考えます。ゲームは5～10人のグループで実施。

平均所要時間

90分

準備物

- ・長机 10
- ・いす 45（参加人数による）

定員

45名

その他

なし

参加費

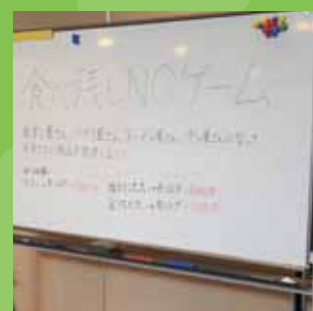
無料

実施団体

NPO法人
大阪環境カウンセラー協会

POINT

- ☐ 自分の食べきれる量を知ろう
- ☐ 地球温暖化と食品ロスの関係を学習します





座って学ぶ



体験



多人数



小人数



子ども



おとな

川を汚したのは誰だ！



6 家庭の水とトイレを節減



14 海の豊かさを増やす

実施内容

水に廃棄したあとの処理の大変さを体験し、家庭でも環境に配慮した排水手段を学びます。水の大切さを知ることができるプログラムです。「色の3原色で分散化」を体験します。

平均所要時間

90 分程度

準備物

・長机 3 台
・いす 8 台

定員

40 名

その他

なし

参加費

無料

実施団体

NPO法人
大阪環境カウンセラー協会

POINT

- ☐ 水の大切さを知ることによって「命の大切さ」を考えます
- ☐ 川に流した汚水は、処理時間とコストがかかることに気づきます
- ☐ 家庭でできる、環境に配慮した排水手段を学びます



川の汚れを調べよう



6 家庭の水とトイレを節減



14 海の豊かさを増やす

実施内容

最近、各地域では下水道の整備が進み、ずいぶんと河川の浄化がされてきました。そこで、これからも自分たちの身近な川が汚れないような暮らしの工夫を学びます。小学校5年生以上の方はどなたでも。

平均所要時間

60 分程度

準備物

・長机 3
・いす 8

定員

30 名～ 40 名

その他

・周辺の河川の水を使います

参加費

試験薬代
300 円 × 人数

実施団体

NPO法人
大阪環境カウンセラー協会

POINT

- ☐ 水道水（飲料水）・雨水・河川水（家庭排水）を考えます
- ☐ 家庭排水の状況を知ることができます
- ☐ 水道水と河川水の状況を知ることができます



ごみと暮らし



12 つくる責任、つかう責任

実施内容

副読本「おおさか環境科」を使用して、3Rの中で生活の変化に伴う都市ごみの変化と処理の現状、ごみ処理の将来像について考え、ペットボトル工作をします。

平均所要時間

60 分～ 90 分

準備物

・長机 3
・いす 5

定員

35 名以下

その他

なし

参加費

無料

実施団体

NPO法人
大阪環境カウンセラー協会

POINT

- ☐ ごみについて考えます
- ☐ 家庭から出しているごみについて検証します
- ☐ ごみを分別することでごみを減らすことができることを学びます

